

外洋総務委員会 議事概要

2009年10月24日

文責：野田 裕二

日時：平成21年10月22日（木） 18：30～21：00

場所：株式会社トーヨー・アサノ3F会議室

出席：植松眞副会長、児玉萬平常務理事、鈴木保夫委員長、野田裕二委員、
浅野英武委員、山本高靖委員
外洋三崎：中里英一氏
外洋三浦：長谷川孝男氏
外洋湘南：稲葉文則会長、作田智恵子氏
合計10名

議事概要：

<委員会開催について>

- ・ 植松氏挨拶：来年のジャパンカップは関西ヨットクラブの理事会にて関西ヨットクラブで開催すると決定され、開催日程についてはJSAFの要望に従うが関西ヨットクラブとしては8月開催を希望する。第二希望として10月末第三希望として9月ではないかとの意見が出ている。JSAFとしてこの内容について11月中旬に決定せれるようお願いしたい、と報告がなされた。これに対し児玉常務理事よりレース委員会を通じ早急な検討を依頼する、と返答がなされた。
- ・ 児玉氏挨拶：今回の委員会開催にあたり艇登録に関する外洋艇登録証とデータベースに関する資料配付及び外洋レース委員会の活性化を図るためスタッフ人材一新について検討依頼が提案された。及び関東水域レース調整にあたり先般台風で中止せざるを得なかったジャパンカップの残念レガッタを10月31～11月1日で開催したい。
なくなったジャパンカップを今後どうするかを代表的なオーナーと検討したところジャパンカップの様な大型艇のシリーズレガッタをゴールデンウィークに開催を希望する。
- ・ 鈴木氏挨拶：第3回議事録概要を確認した。本日の議題は、①関東水域レース調整、②艇登録関係の2点について、これまでの委員会で議論を踏まえて、来年度の方針を見出したい。

<関東水域レース調整について>

議論内容

- ・ クラブレースについてはクラブ内の問題であり関与すべきではないのではないか、また案内が不十分だったためレース日程等の調査ができていない。
- ・ 前回の委員会でレース調整についての問題点は出たと思われるので、今回はレース調整を行うのか、行うとすればどのように行うかを討議したい。
- ・ 今回の御子元島レースを例に見るとロングレースが2週続いた場合どちらかの選択となり結果として参加艇の減少となっているのではないかと懸念される。
- ・ 前回の委員会でレース日程の調整は不要との意見もあったが、定期開催していたロングレースが諸般の事情のため開催日程が変更され結果として開催日程が近づいてしまい参加希望者はどちらかを選ばなければならなくなる例が増えていると思われる。
参加者の事を考えればレース日程の調整は必要ではないかと思われるため、各レースの日程をJSAFレース、各外洋加盟団体のクラシックレースのような順序で調整してはどうか。

- ・ 単に日程調整では参加しづらい事もあるため各レースをシリーズレースにしてはどうか、シリーズレースとして表彰すればシリーズ参加が増えると思われる。
- ・ 昔より続けているレースを続けることは大切である。クラシックレースとしシリーズレースにしてはどうか。
- ・ 関東外洋クラシックレースとは初島卯月レース、大島レース、神子元レース、小網代レースではないか。
- ・ 各外洋加盟団体がやっているレースは各外洋加盟団体の意見を尊重し各外洋加盟団体に任せる。
- ・ 神子元レースは危険であるとの意見もあるが、外洋ヨットレースでは神子元レースに限らず常に危険にさらされる可能性があるため、危険に対する知識や対応が必要である。
- ・ 来年のジャパンカップ開催は開催場所を葉山新港とし5月1日～4日に行いたい、その際に関東ミドルボート選手権との併催を希望、また外洋加盟団体主催外洋レースやゴールデンウィークレガッタとして、ワンデザイン艇レガッタとの併催をしたらどうか。
- ・ ゴールデンウィークに多くのレースをシリーズ化する場合それぞれの都合もあるためすべて調整ができるとは思えない。例えば大島レースが5月に2回行われるなど。
- ・ それぞれの主催レースを尊重し都合も分かるが可能な限り調整を行って欲しい。同じような海域で開催されるレースをシリーズ化してはどうかとの提案である。
- ・ 現在のレースも率先して参加艇を集めている方がいるので集まっているのが現状であり、レース日程調整とシリーズ化で参加艇及び参加者が増えることに期待する。
- ・ 9月の連休行われるレースについて参加しやすいレース内容の検討が必要。
- ・ 関東選手権を9月連休で開催したい。
- ・ 今回各外洋加盟団体からのご出席が少なかったためレース調整議論に至らず再度検討が必要。
- ・ まずは関東外洋クラシックレースの神子元レースを10月初旬か9月で検討し、これを軸に他のレース日程を調整する。
- ・ 外洋湘南は来年度レース日程を考えてきた。大島レースは5月22～23日、パールレースは7月22～24日で決定しているため調整は不可能。
- ・ 小網代レース日程は、11月3日の文化の日で変更はない。
- ・ 4月第1週予定の初島卯月はメンバー証やSR取得の問題がある。1週ずらすか検討が必要である。
- ・ 神子元レースは9月または10月開催にできないか外洋三崎で検討して頂きたい。
- ・ 次回外洋総務委員会開催までに、関東外洋クラシックレースの日程をできるだけ早く（一ヶ月以内）公表し各クラブレース日程調整の参考にして頂けるようにする。

決定事項

- ・ 神子元、小網代、大島、初島卯月の各レースは、シリーズ化を、それぞれの主催である外洋加盟団体にたいして提案するあるいは、問いかけると決まった。シリーズ化に対しての関係団体への調整役に稲葉氏を推薦した。

<艇登録について>

議論内容

- 現状では登録数は約800艇で艇登録更新料は3,000円なので年間約240万円の収入、艇の入れ替え時に使用中のセールナンバーの継続使用を希望する場合50,000円
- セールナンバーの現状
本来セールナンバーは艇に属するが、実態ではセールナンバーはオーナーと艇に属する。(セールナンバー継続使用希望がほとんどである)
艇を売却した場合次のオーナーがそのセールナンバーをそのまま未登録で使用している。
従って同じセールナンバーが存在している。
セールナンバーを取得せずレースに参加している。
セールナンバーを取得するため会員になるが翌年会員を辞める例も多い。
- 艇登録問題を討議する前にJSAFでセールナンバーのデータベース化できていない事が大きな問題であり、セールナンバーのデータベース化が必須である。
現在セールナンバーが有効かどうかの調査にもデータベース化がないためできていない。
簡単にデータベース化できない最大の理由は古い紙ベース申込書のみがあるだけだからである。
セールナンバーのデータベース化は必要最低限の内容で始める。(艇名、艇種、オーナーの連絡先等)
- セールナンバーの重複を防止する案
艇売却時にセールナンバー継続使用を希望する場合は、売却する際に次のオーナーに艇登録を義務づける。その際にセールナンバーは前セールナンバーの前に一桁付け加える。
例：2009→12009
問題点としてセールに一桁付け加えるスペースがない。または実際セールに記入しない場合もある、再度売却された場合はさらに桁数が増えるなど抜本的な解決にならない。
- 今迄総務委員会では艇登録更新料を止め、一回限りの登録料にするなどで全艇の艇登録(全艇に登録されたセールナンバーを付ける)を目指していたが、更新料をなくした場合一端艇登録のためにJSAF会員となり正式なセールナンバーを取得後翌年より会員を辞める可能性が非常に高いと思われ、艇登録推進が会員の減少を引き起こす要因とならないか懸念される。また、艇登録更新料の無料化で、JSAF本体の予算措置はできるのか。艇登録料は、もともと外洋が自由にできるカネではないと理解している。JSAFにとって減収になるのではないか。
- 現在の外洋活動費は、艇登録料と寄付金である。コンセプトはなるべく多く艇登録をしていただくことにある。レース活動をしている艇でも登録していないのが現状である
- クラブにも艇登録できるようにできないのか。
- 現在、クラブでは艇登録できないようになっている。
- 県連でも外洋艇登録できるようにしているが一部を除き実施されていない。
- 特別加盟団体としてのクラブはJSAFメンバー登録をしていないのが現状だ。
- 特別加盟団体制度を根本的に考え直すべきである。
- 予算がないJSAFにはクラブ等団体への還元はまったくないのが現状である。
- セールメーカーは登録させてほしいと聞いているが、ナンバー発行の方法、キックバックなど、現状では任せることは難しい。

決定事項

セールナンバーのデータベース化の為の費用見積もりを取り検討を行う。

データベース化にあたり登録内容の検討が必要だが最低限オーナーの連絡先と艇との関係を明らかにする。

今後も引き続き未登録の艇にセールナンバーを付けていただくことを推進する。

艇登録の更新を行わないと、次年度以降に脱会する会員が増えると思われるので、特別加盟団体からの艇登録も含めて更新を行うことで再検討して行く。

その他

レース委員会副委員長に本田氏を推薦する。

次回外洋総務委員会日程 11月24日とする。